

「赤れんが便り」Vol.96 連載「豊田喜一郎による国産自動車事業化への道」
第6回 喜一郎の言葉より読み解く創業と事業化～「経営者」豊田喜一郎 参考文献
※著者五十音順

書籍

- (1)天野章吾, “日本自動車工業の史的分析”, 亜紀書房 (1982)
- (2)宇田川勝, “前期の日本自動車産業—自動車産業政策と日産, フォード, GM”, (財)神奈川県弘済会 (1983)
- (3)(財)運輸経済研究センター, 近代日本輸送史研究会編, “近代日本輸送史”, 成山堂書店 (1979)
- (4)大場四千男, “日本自動車産業の成立と自動車製造事業法の研究”, 信山社 (2001)
- (5)尾崎正久, “自動車日本史”, 自研社 (1942)
- (6)尾崎正久, “自動車日本史(上巻・下巻)”, 自研社 (1955)
- (7)瀨瀬厚, “総力戦体制研究”, 三一書房 (1981)
- (8)小山弘健, “日本軍事工業の史的分析”, 御茶の水書房 (1972)
- (9)櫻井清, “戦前の日米自動車摩擦”, 白桃書房 (1985)
- (10)孫飛舟, “自動車ディーラー・システムの国際比較”, 晃洋書房 (2003)
- (11)中村静治, “現代自動車工業論”, 有斐閣選書 R (1983)
- (12)中村静治, “日本自動車工業発達史論”, 勁草書房 (1953)
- (13)日本自動車工業会編, “日本自動車工業史稿(3)”, 日本自動車工業会 (1969)
- (14)平沢照雄, “1930年代日本における統制経済の構造と展開”, 筑波大学社会学研究科博士論文 (1998)
- (15)柳田諒三, “自動車三十年史”, 山水社 (1944)
- (16)山本直一, “日本の自動車—トヨペット成長史”, 創元社 (1959)
- (17)山本弘文編, “交通・運輸の発達と技術革新”, 東京大学出版会 (1986)
- (18)和田一夫編, “豊田喜一郎文書集成”, 名古屋大学出版会 (1999)

論文

- (1)岩本岳, “第一次世界大戦と軍需工業動員法”, 駿台史学 第177号 (2023), pp229-256
- (2)奥井正敏, “大正・昭和戦前期における自動車の普及過程”, 新地理 36-3 (1988), pp30-37
- (3)上山邦雄, “戦前期日本自動車産業の確立と海外展開(上)”, 城西経済学会誌 第37号 (2016), pp33-64
- (4)上山邦雄, “戦前期日本自動車産業の確立と海外展開(下)”, 城西大学大学院研究年報 第31巻 (2018), pp19-42
- (5)宇田川勝, “自動車製造事業法逐条説明”, 法政大学経営志林 第39巻 4号 (2003), pp195-209
- (6)笠井雅直, “陸軍の自動車工業統制とトヨタ自動車”, 名古屋学院大学 社会科学篇 第51巻第1号 (2014), pp47-68
- (7)加藤健太, “戦間期日本の産業政策と自動車工業—政策パッケージの変容(1)”, 高崎経済大学論集 第62巻 第1号 (2019), pp27-48
- (8)加藤健太, “戦間期日本の産業政策と自動車工業—政策パッケージの変容(2)”, 高崎経済大学論集 第62巻 第2号 (2019), pp47-82
- (9)加藤健太, “自動車工業の確立と「統制」”, 高崎経済大学論集 第64巻 第1号 (2021), pp1-27
- (10)川辺謙一, “東京で道路よりも鉄道が発達した3つの理由”, 東洋経済 ONLINE (2016)
- (11)関権, “戦前期における自動車工業の技術発展”, 一橋論叢 第125巻 第5号 (2001), pp 477-493
- (12)小林英夫, “日本で自動車はどう乗られたのか”, アジア太平洋研究 No.25 (2015), pp-29-48
- (13)白木沢旭児, “日本における統制経済の形成と展開”, 2009年度政治経済学・経済史学会秋季学術大会 (2009), pp31-39
- (14)吹春俊隆, “日米欧経済摩擦:自動車産業”, 神戸大学経済学研究年報 第37巻 (1991), pp21-84
- (15)前田陽, “創業期におけるトヨタ自動車の生産体制と原価管理意識”, メルコ管理会計研究 巻1 (2008), pp 21-32
- (16)呂寅満, “戦時期日本における「大衆車」工業の形成と展開—トヨタ自動車工業を中心に—”, 土地制度史学 第170号 (2001), pp36-54